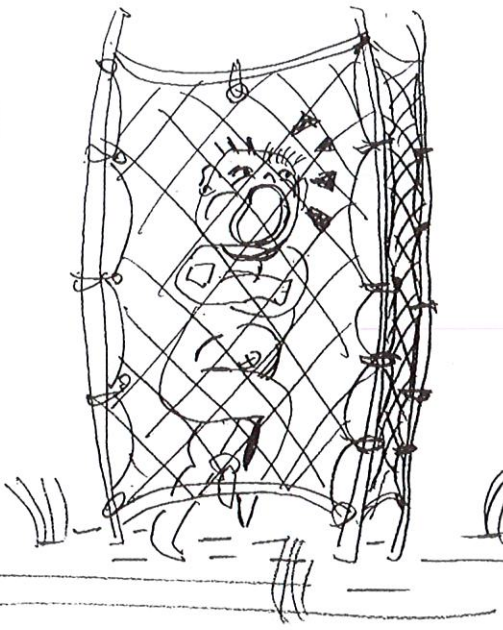


テントのある暮らし

皆さまのご家庭では防災グッズの備えは万全ですか。近年では異常気象の影響から大型台風や豪雨による災害も多発しています。事前に避難する場合、各自治体が定めた避難所を利用するのですが、最近ではコロナウイルスの感染対策も必要です。

そこで今回は非常時にマルチな使い方ができる「サングッド」のシングルテントをご紹介します。わずか30秒で広げられるテントはファスナー式で外部をシャットアウト。メッシュを張った2箇所の小窓付きで、避難所内でのプライベート空間を保つことができます。横型にすると脚を曲げずに寝られるカプセルテント、縦型では着替え用として変身。また、被災時には家族専用の簡易

トイレテントも作れます。高さ210cmと着替え時に邪魔にならない高さで、幅、奥行きは90cmと十分なスペースなので、小さなお子様と一緒に就寝できるサイズです。収納時は直径65cm、厚さ4cmの専用バックに収まるコンパクトさ。カラーは3色（オレンジ・カーキ・ブラウン）があり価格は5,120円。防災士推奨品のシングルテント！いざという時の備えにいかがでしょうか。
[グラフィックデザイナー：D]



リフォーム小話

現在、当社にはミャンマーからの技能実習生がいます。彼らは体は小さいですが体力があり、天性の手先の器用さも持ち合わせています。今ではうちの大切な戦力です。しかし彼らの母国は軍事政権になり、実習生は札幌で行われた抗議デモに参加することもあります。SNS等でその映像が拡散されているため国に帰っても逮捕されてしまうかもしれません。

私は何とか還暦を過ぎ、2回目のコロナワクチンもやっと打ち終わりました。これからは第二の人生ということでコロナと共生していくしかないかと思っていますが、ミャンマーではいまワクチンどころではないでしょう。日本はやはり恵まれているなと感じました。

今回はリフォームと関係のないお話でした。



カサシマ住宅

http://www.kasashima.co.jp/

〒007-0891
札幌市東区中沼西1条2丁目2-5
電話：011-792-4388
FAX：011-792-4377
E-mail: mail@kasashima.co.jp



間伐で未来につなぐ北の森

カサシマ通信



第31号

令和3年9月28日
発行元/カサシマ住宅

【ニ・ポンチセ】誕生!

カサシマの木製コンテナハウス【ニ・ポンチセ】は自宅から独立したひと部屋をかなえる木の小さな家。セカンドハウスや趣味の部屋として、仕事場、物置、ショップを開く…など様々な用途に対応可能。暮らしの楽しみがさらに広がります。



▲「離れ」の個室を造る提案。内外装のカラー等の変更も可能。仕様等の詳細はお気軽に問合せを（写真は完成予想図）



【本体価格】(税込)
3.5mタイプ…120万円
6.0mタイプ…170万円
※基礎・外構工事、設備、運搬費等別途
※棚・机等の造作家具はオプションにて対応いたしますのでご相談ください。

職人のこだわり ~造形モルタルのキッチン~

造形モルタル（別名MPCコンクリート）はインテリアにもエクステリアにも使用可能なペイント式のモルタルです。これを東雁来モデルハウスのキッチン天板に使用したところ、黒い大理石のような独特な質感が生まれ、従来のキッチンとは一線を画した高級感のある仕上がりになりました。ペイントしたのは当社の長谷川とミャンマー実習生のチョーチョーテツさんです。当モデルハウスは早くも売却済となりましたのでお見せできないのですが、今後もこういった独自の質感を持った造作家具をご提供していきます。

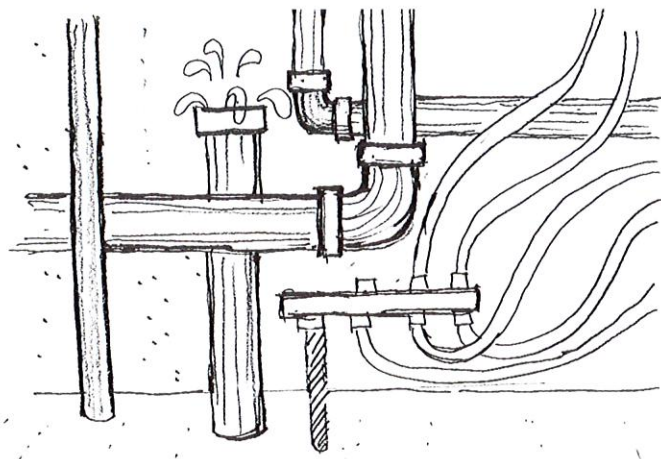


危険情報

～「スムーズな排水のために」～

みなさんこんにちは！ 工事担当の秋本です！ 今回はトイレやキッチン、お風呂の排水についてお話しします。

最近のトイレやお風呂は節水タイプの器具が主流になっております。それはとても良いことなのですが、半面思わぬトラブルになる可能性も持ち合わせているのです。トイレなどは流れる水の量が少ない分、トイレトーパーが流れきらずにつまってしまったり、キッチンやお風呂は油脂や皮脂が蓄積しやすく、配管を塞いでしまったりという事例がないわけではありません。



トイレに関しては大でも小でもトイレトーパーを流す水は大の方で、キッチンやお風呂では配管の洗浄洗剤などをたまにお使いいただいております。お掃除をされたほうがつまりの解消になるかと思えます。

リフォームされたお家などでは昔の設備の基準で配管されていたりするのでより注意が必要かもしれません。



アキモト



イラスト：ノンコ（消しゴムはんこをモデルハウスで販売しています）

アフターレポート

築20年以上が経過した住宅のお施主様より改修工事の見積依頼を受けました。外壁改修工事について、まずは工事代金が安価な外壁材のみの張替えをご提案しましたがお施主様から「下地・断熱材・木部廻りにも劣化がないか念のため確認してもらいたい」とのご要望が。早速外壁を剥がし工事を進めると、お施主様の予想通り下地（サイディング）の腐食、断熱材の劣化があり断熱材のジョイントに6mm～10mmほどの隙間もありました。そこで断熱材を張替え、発泡ウレタンを充填、ジョイントテープ張りの処理をし、サイディング貼りを行いました。年月を重ねた家は見えない部分で想



像以上に痛みが進行していることがあります。このような事例を元にお客様には改修工事のご提案をし、建物を長持ちさせるためのアドバイスをさせていただきました。



ハンバ

補助金情報

～「再エネ省エネ機器導入補助金制度」～
(札幌市)

札幌市では、再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器を導入する市民の方に、導入費用の一部を補助しています。ペレットストーブ、薪ストーブも対象です。

■補助対象機器／

- ①太陽光発電（補助額：1kWあたり3万円 ※上限20万9千円）
- ②定置用蓄電池（補助額：1kWあたり2万5千円 ※上限10万円）
- ③エネファーム（補助額：8万円 ※定額）
- ④地中熱ヒートポンプシステム（補助額：20万円 ※定額）
- ⑤木質バイオマス（ペレットまたは薪）ストーブ（補助額：1台あたり5万円 ※定額）



令和3年度 第2回分の募集期間は2021年9月1日～11月4日です。

機器の導入を検討している方はお早めに当社スタッフまでご相談ください。



カサマ

つれづれ日記

コロナウィルスの影響で木材不足が問題になっています。当社はウッドショック以前から輸入材をほとんど使用せず、道産材で家をご提案しているため大きな影響は受けておりません。何年もの間、道産材を積極的に使用している建築会社ということで、先日STV「どさんこワイド」から取材を受けました（9/9放送済）。OB様のお住まいと建築中現場をご紹介し、道産材で家を建てる事の良さをお伝えいたしました。当社では道産材を使用した新築住宅・リフォームを多く手掛けています。地元産の木材を使うことで、地元の企業や働く人が元気になり、自分たちもまた元気をもらうという理想的なサイクルが出来上がります。今後も様々な機会を活用し道産材の魅力をお伝えしていければと思います。

（なお、放送された動画は後日どさんこワイドのYouTubeチャンネルにUPされる予定です）



ハヤカワ

